

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	20	学校名	香芝高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	シトラスリボンプロジェクト
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	生徒会活動として、全校生徒に活動の趣旨を説明し、生徒会役員、ボランティア部、有志生徒を中心に、誰にとっても住みやすい社会とは何かを考えることを目標に行った。
連携・協働相手	香芝市民図書館、香芝警察署、さない内科整形外科医院、森本眼科、隅田薬局、岡本歯科医院、二上駅前診療所、二上駅前診療所グループホーム
地域と共有している目標・課題等	差別や偏見の無い、誰にとっても住みやすい社会の醸成について生徒が発信し、地域住民と共に考える機会となることを目標に行った。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>シトラスリボンプロジェクトの取り組みについて、生徒会とボランティア部が中心となって、全校生徒に趣旨を説明し、生徒会として賛同することを呼びかけた。今年度は特に多くの生徒達が集まり、これまでで最多の約600個のシトラスリボンを作製することができた。また有志生徒が啓発ポスターを作成し、コロナ禍であってもなくとも、すべての人が安心して笑顔で暮らすことのできる、優しさのあふれる社会の実現を目指して取り組むことについて、校医さんをはじめ地域の公的施設や福祉施設に協力をお願いし、ポスターの掲示やシトラスリボンの配布に、快く協力していただいた。</p> <p>さらに、自分達の作製したシトラスリボンをグループホームの方々に直接お渡しさせていただき、老若男女を問わず多くの地域の方々とお話しする機会に恵まれ、何より大変喜んでいただいたことで、やりがいを感じ心のつながりを実感することができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>普段あまり交流のない生徒達が、共に協力しながらシトラスリボン作りに取り組み、穏やかで心温まる雰囲気の中でいきいきと活動する様子が見受けられ、校内の生徒同士が新たな関わりをもつ良い機会となった。また、実際に生徒が出向き趣旨の説明と協力をお願いをした際に、病院の先生や看護師さんや患者さんをはじめ地域の方々から温かい言葉をかけていただき、生徒の地域社会へ貢献しようという意識の高揚につながった。今後さらに生徒の地域社会への興味・関心を高めるために、地域とつながる活動を計画していきたい。</p>
--

